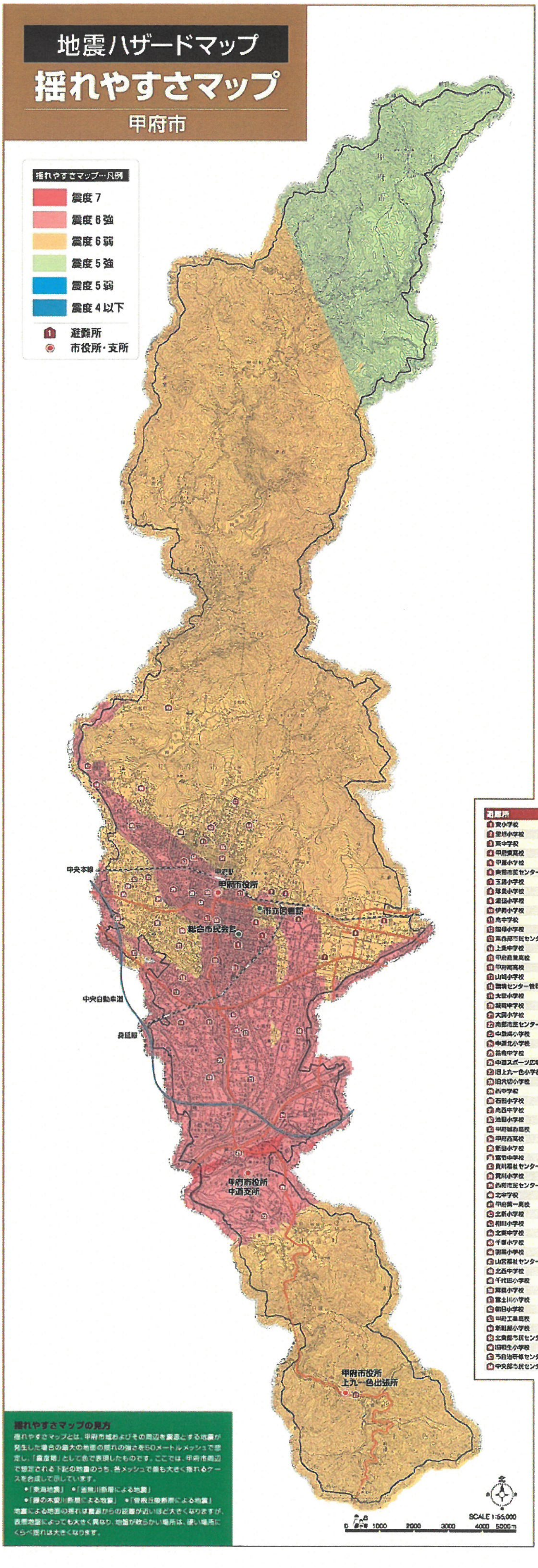
地震ハザードマップ

揺れやすさマップ

甲府市



揺れやすさマップ…凡例
🟥 震度７
🟥 震度６強
🟧 震度６弱
🟩 震度５強
🟦 震度５弱
🟦 震度４以下
避難所
市役所・支所
中央本線
甲府市役所
市立図書館
総合市民会館
中央自動車道
身延線
甲府市役所
中道支所
甲府市役所
上九一色出張所
北
SCALE 1:55,000
0
1000
2000
3000
4000
5000m

揺れやすさマップの見方

揺れやすさマップとは、甲府市域およびその周辺を震源とする地震が発生した場合の最大の地面の揺れの強さを50メートルメッシュで想定し、「震度階」として色で表現したものです。ここでは、甲府市周辺で想定される下記の地震のうち、各メッシュで最も大きく揺れるケースを合成して示しています。

●「東海地震」　●「釜無川断層による地震」

●「藤の木愛川断層による地震」　●「曽根丘陵断層による地震」

地震による地面の揺れは震源からの距離が近いほど大きくなりますが、表層地盤によっても大きく異なり、地盤が軟らかい場所は、硬い場所にくらべ揺れは大きくなります。

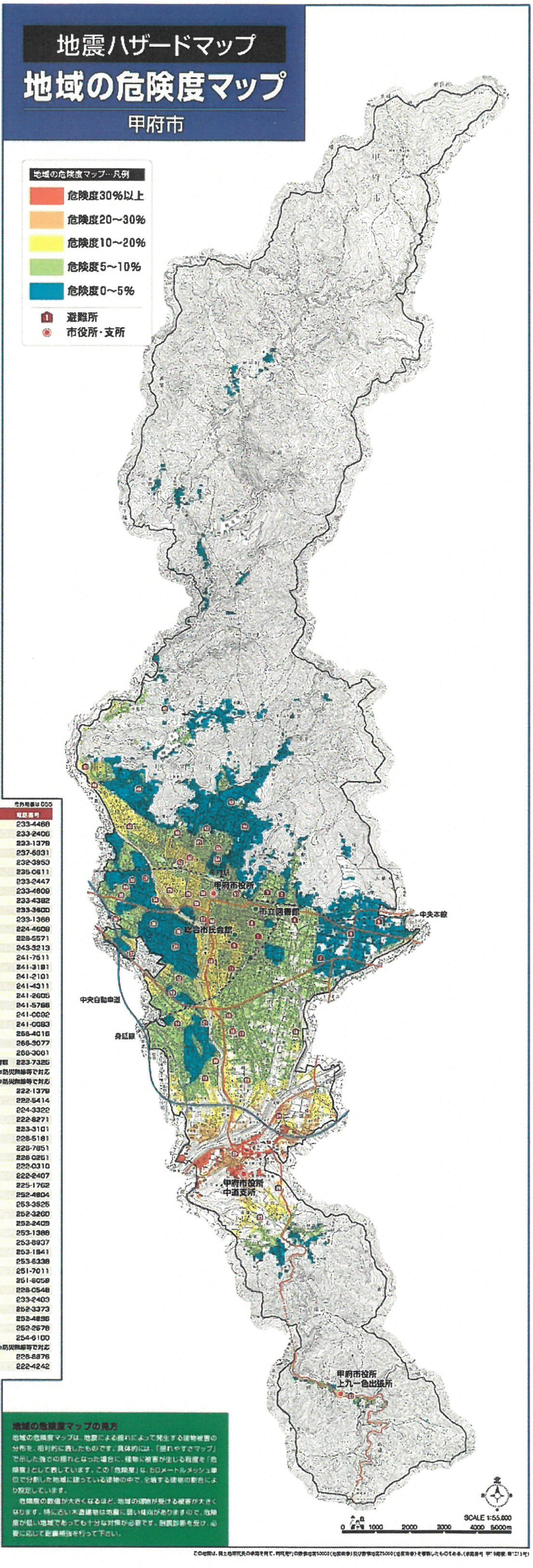
市外局番は 055

避難所	電話番号
1 東小学校	233-4468
2 里垣小学校	233-2406
3 東中学校	233-1378
4 甲府東高校	237-6931
5 甲運小学校	232-3953
6 東部市民センター	235-0611
7 玉諸小学校	233-2447
8 琢美小学校	233-4609
9 湯田小学校	233-4382
10 伊勢小学校	233-3600
11 南中学校	233-1368
12 国母小学校	224-4609
13 南西部市民センター	228-5571
14 上条中学校	243-3213
15 甲府農業高校	241-7611
16 甲府南高校	241-3181
17 山城小学校	241-2101
18 環境センター管理棟	241-4311
19 大里小学校	241-2605
20 城南中学校	241-5766
21 大国小学校	241-0092
22 南部市民センター	241-0083
23 中道南小学校	266-4016
24 中道北小学校	266-3077
25 笛南中学校	266-3001
26 中道スポーツ広場体育館	223-7325
27 旧上九一色小学校	※防災無線等で対応
28 旧[illegible]小学校	※防災無線等で対応
29 西中学校	222-1379
30 石田小学校	222-5414
31 南西中学校	224-3322
32 池田小学校	222-8271
33 甲府城西高校	223-3101
34 甲府西高校	228-5181
35 新田小学校	228-7651
36 富竹中学校	228-0251
37 貢川福祉センター	222-0310
38 貢川小学校	222-2407
39 西部市民センター	225-1762
40 北中学校	252-4804
41 甲府第一高校	253-3525
42 北新小学校	252-3260
43 相川小学校	252-2409
44 北東中学校	253-1368
45 千塚小学校	253-8937
46 羽黒小学校	253-1841
47 山宮福祉センター	253-6338
48 北西中学校	251-7011
49 千代田小学校	251-8058
50 舞鶴小学校	226-0548
51 富士川小学校	233-2403
52 朝日小学校	252-3373
53 甲府工業高校	252-4896
54 新紺屋小学校	252-2578
55 北東部市民センター	254-6100
56 旧相生小学校	※防災無線等で対応
57 市自治研修センター	226-8876
58 中央部市民センター	222-4242

地震ハザードマップ

地域の危険度マップ

甲府市



地域の危険度マップ…凡例
🟥 危険度30%以上
🟧 危険度20～30%
🟨 危険度10～20%
🟩 危険度5～10%
🟦 危険度0～5%
避難所
市役所・支所
中央本線
甲府市役所
市立図書館
総合市民会館
中央自動車道
身延線
甲府市役所
中道支所
甲府市役所
上九一色出張所
北
SCALE 1:55,000
0
1000
2000
3000
4000
5000m

地域の危険度マップの見方

地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」は、50メートルメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。

危険度の数値が大きくなるほど、地域の建物が受ける被害が大きくなります。特に古い木造建物は地震に弱い傾向がありますので、危険度が低い地域であっても十分な対策が必要です。耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強を行って下さい。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平19総複、第[illegible]号）